

Pinnacle 社： イノベーションによって進化する エンジニアリングソリューション

Pinnacle Infotech 社は、世界中の建築設計者、エンジニア、建設会社に BIM エンジニアリング サービスを提供している会社です。BIM のリーディングカンパニーとして、シームレスな共同作業、統合された解析環境、詳細設計を実現し、世界で最も意欲的な建設プロジェクトに高度なエンジニアリングソリューションを提供しています。

同社は BIM を導入し、シームレスな共同作業を実現したことが成功要因につながったと考えています。BIM が無くては大規模プロジェクトは成り立ちません。たとえば、2022 年 FIFA ワールドカップの開催地であるカタールのドーハでは、収容人数 80,000 人のサッカー スタジアムの建設が進められていますが、このプロジェクトでは一元管理された Autodesk® Revit® モデルから生成された図面が使用され、図面の共有には Autodesk® BIM 360 Docs® が使用されています。

成果

Pinnacle Infotech 社は、エンジニアリングプロセスを BIM ワークフローで統合した結果、時間とコストの削減に成功しました。



作業時間を 30 ~ 40% 短縮



コストを 20% 削減

この効果は最終的にクライアントに還元されます。



BIM ワークフローが無くては、
厳しいスケジュールに
対応することは不可能でした

Pinnacle Infotech 社 創設者兼 CEO/Bimal Patwari 氏



[導入事例を読む](#) >

活用事例

Pinnacle Infotech 社の アプローチ

つながったデータ環境で 施工性を改善

正確な情報に即座にアクセス

Pinnacle Infotech 社は Revit を使って 18 種類を超える解析とシミュレーションを実行し、結果を集約しています。きわめて正確な最新データを取得し、BIM 360 を介して調整済みの単一モデルを共有しながら共同作業を進めることで、施工性に優れた設計を実現しています。

“このテクノロジーの素晴らしいところは、
施工の確実性が高まることです”

Pinnacle Infotech 社 創設者兼 CEO/Bimal Patwari 氏

サステナビリティの向上 サイズオーバーを回避して資材を節約

Pinnacle Infotech 社は Revit を使ってサイズを解析したり、材料や設備を変えた場合の影響を解析することで、使用する資材や電気負荷を削減し、建物のエネルギー消費量を低減しています。そのメリットは、環境にやさしいプロジェクトが実現するだけではありません。そうして節約した分はクライアントに還元され、クライアントの満足度向上にもつながります。

“過去に何度も、BIM モデル上で最終的なダクトと配管を修正し、クライアントに見せることで、設備のサイズを 20% 削っても問題ないことを示すことができました”

Pinnacle Infotech 社 創設者兼 CEO/Bimal Patwari 氏

メリット

統合エンジニアリングによって Pinnacle Infotech 社が 実現した主なメリット



最新のプロジェクト情報に
いち早くアクセス



資材の数量や設備の選択、
サイズを最適化



施工フェーズにもたらされる
多大な効果

“単一の BIM 360 モデルで共同作業を進め、その後ゼネコンにこのモデルを渡して施工に活用するという手法は、大きなメリットをもたらしています。プロジェクトの最初から最後まで、関係者全員が 1 つの BIM モデルで作業する。これこそが未来の手法だと思います”

Pinnacle Infotech 社 エンジニアリング部長/Chip Branscum 氏 (技術士)

[導入事例を読む](#) >